

ゲンバイヒルガオ

Ipomoea pes-caprae (L.) Sweet
subsp. *brasiliensis* (L.) Ooststr.

ヒルガオ科
Convolvulaceae

カテゴリー

大分県 IA
環境庁 掲載なし

選定理由 亜熱帯，熱帯までの海岸砂浜に広く分布する。本県では以前から「豊後水道域」で生育が確認されていたが，冬を越すことはほとんどなかった。10年くらい前から，越冬して砂浜に繁茂している。絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布 豊後水道域

分布域 四国(南部) 九州(福岡・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島) 沖縄 熱帯

生育環境 海岸の砂地。

現 状 生息地は，冬の寒さや，浜の規模が小さく大波などによる影響を受けて衰退したが，現在は生育状態は回復している。「別府湾沿岸域」は1987年に生育し，翌年に消滅した。

備 考 暖地植物。

ハナシノブ

Polemonium kiushianum Kitamura

ハナシノブ科
Polemoniaceae

カテゴリー

大分県 情報不足
環境庁 IA

選定理由

県内分布 (祖母・傾山地)

分布域 九州(熊本・大分)

生育環境 丘陵地や山地の草地，林縁。

現 状 「九重火山群」の生育地は，人により採取されたものか，消滅し，「祖母・傾山地」の生育地は把握されていない。

備 考 基準標本産地 [笹倉 - 久住道・祖母山]。国立公園指定植物 [阿蘇くじゅう]

ホタルカズラ

Buglossoides zollingeri
(DC.) Johnston

ムラサキ科
Boraginaceae

カテゴリー

大分県 IB
環境庁 掲載なし

選定理由 県内では生育地は点在し，個体数は少ない。植生の遷移や路傍の草刈などによる生育環境の悪化で，生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布 国東地区，姫島・国東海岸，別府湾沿岸域，大分川・大野川丘陵地，大野川上流域

分布域 北海道 本州 四国 九州(福岡・佐賀・長崎・大分・宮崎・鹿児島) 朝鮮半島 台湾 中国

生育環境 低地や丘陵地の草地や林縁。

現 状 植生遷移の進行による環境の変化や草刈などで，消滅した生育地が多い。